

「office2016」 「office2019」 「office365」 比較表

	Office 2016 Professional Plus	office2019 Professional Plus	office (by EES 特典)
メーカー出荷	2015年	2018年	常に
機能	保守向けやクローズド環境向けという提供ポリシーに則り、機能追加は基本予定されておらず、リリース時の機能までに限定されます。		常に機能の追加・更新機会があり自動で製品に反映されます。 Wordの校正機能等機能の有無以外にもOffice 365は日々機能向上に向けての取り組みがされます。
更新	不定期		常に最新
認証	基本的には学内ネットワークに繋がっている上で、KMS認証で自動更新される 初回のライセンス認証は「30日以内」（猶予期間：OOB）、次回以降は「180日以内ごと」（ライセンス期間）		初回そしてそれ以降1~2ヶ月に一度”サインインが必要（ネット接続要）
学生利用	不可		可
教職員利用	可		可
入手	DownloadStation or メディアから		MSから（サインアップ・サインイン）
サポートOS	不明 現在提供しているので、win7以降は対応していると思われる	windows10のみ ※Windows 7とWindows 8が対応外 MacOS 10.12以降	windows7、8.1、10 MacOS 直近3つのバージョンサポート (macOS 10.12以降。Yosemiteは不可)
アプリケーション	「Word」 「Excel」 「PowerPoint」 「Outlook」 「Access」 「Publisher」 「OneNote」 「OneDrive」 ※このうち「Access」 「Publisher」 はWindowsのみに含まれる	「Word」 「Excel」 「PowerPoint」 「Outlook」 「Access」 「Publisher」 「OneNote」 「OneDrive」 ※このうち「Access」 「Publisher」 はWindowsのみに含まれる ※「OneNote 2019」が提供されないため、Windows環境ではOneNote for Windows 10（ストアアプリ）版や旧バージョンの「OneNote 2016」を代わりに利用する必要がある	「Word」 「Excel」 「PowerPoint」 「Outlook」 「Access」 「Publisher」 「OneNote」 「OneDrive」 などすべてのOfficeアプリを利用できる
サポート終了予定	2025/10/14（延長サポート）	2025年後半（延長サポート）	※基本的には期限無し